

愛徳3位、投げ技華麗

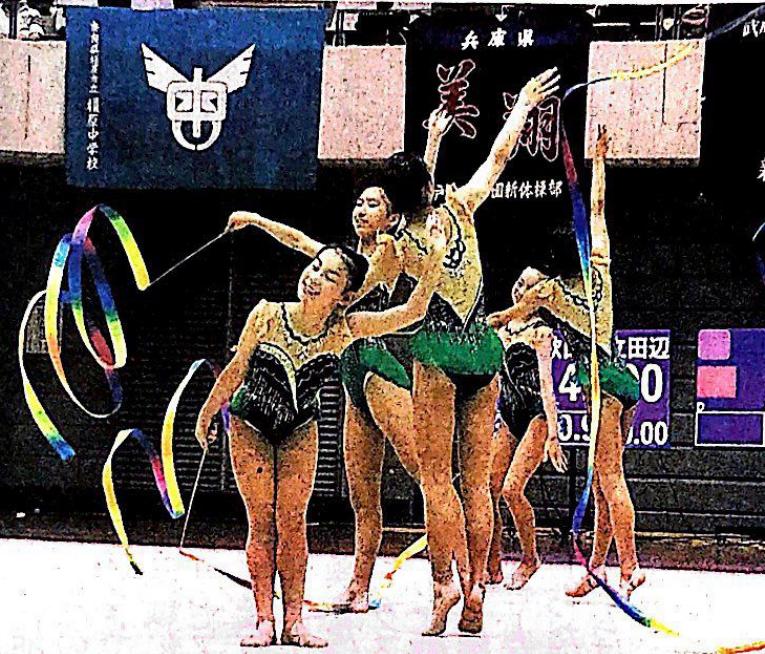
新体操団体の愛徳は、メンバー全員で「順位や点数は気にせず、一つ一つを丁寧に、最後まで集中して笑顔で踊りきる」と確認してから臨んだ。「前半少しミスがあったが、後半しつかり切り替えられた」と小西主将。昨年から一つ順位を上げ、3位になった。

難度を示すDスコアの

(金山成美)

高さが結果に結び付いた。メンバーは全員2年生で、互いを思いやれるのがチームの魅力。少しでも得点が上がるよう、複数の投げ技を繰り出す難しい構成で、絶えず声掛け合いながら練習を重ねてきた。

本番では音楽に乗って息の合った演技を披露。一番の見せ場の終盤では、クロスしての2本投げなどリボンが次々と美麗な動きと融合して観客を魅了した。



新体操団体 3位に入った愛徳の演技

体操

◇…新体操…◇
(野洲市総合体育館)

△団体	①金蘭会(大阪)	550点	▽種目別ボール	016
④愛徳	11・60	400点	③武庫川大付	400点
③鈴木	550点	11・550	②上甲子園	32・45
④菅原	27点	35点	①生野風花	15・600
△個人総合	①生野風花	16・16	②同クラブ	14・14
(兵庫・上甲子園)	風花(上甲子園)	15・600	①生野	15・650
③鈴木	平岡	14・14	③鈴木	平岡
④菅原	(中山五月台)	27点	④菅原	中山五月台